

Interview こども館ってこんなところ！ こども館に集まる様々な方々にお話をお伺いしました。



けいこ
谷 景子さん(右)
そういちろう
谷 聡一郎さん(左)

楽しい思い出がたくさん！こども館は、ほっとできて、心が温くなる場所

子どもが赤ちゃんの頃、育児相談で保健師さんから勧められたのをきっかけに利用し始めました。自分の地区以外のこども館も利用できると知り、実際に行ってみたら、置いてある本、おもちゃ、雰囲気やイベントがそれぞれ違うのが楽しくて、色んな地区のこども館を使うようになりました。

茅野市が地元でなく、家で子どもと二人きりで過ごす中で、命を育てている責任感から気が張ってしまふこともありましたが、こども館では、メイトさんが話を聞いてくれたり、顔見知りのお友達に会えたり、イベントが楽しかったりして、とてもほっとして楽な気持ちになりました。振り返ってみても、こども館で作れた思い出はとても大切なものばかりです。

こども館は、子どもだけでなく、親の私も支えてもらっていると感じられる『ほっと安心できて、心が温くなる場所』です。初めての方も、ぜひ一步を踏み出して訪れてみてほしいです。



みつこ
上原 光子さん

ずっと通いたい！気軽に寄って、本を借りながらコミュニケーションできる場所

分室を利用するようになったのは、12年ほど前です。今は、大体2週間に1回くらいのペースで必ず通っていて、毎回数冊本を借りていきます。本は家で読むことが多いですが、こども館に来る楽しみは、メイトさんとおしゃべりですね。昔から本が好きで、どちらかというと人と話すのは少し苦手でしたが、ここでは、「今日は寒かったね」なんて何気ない話をメイトさんが気さくに聞いてくれます。それが私にとって、とても心地いいんです。図書館の本館も利用しましたが、雰囲気が全然違っており、私はこども館の距離感が一番合っています。

メイトさんは私の本の好みを分かってくださっていて、次に読む本も用意してくれるので助かっています。こども館は、『本を借りるだけでなく、自然にコミュニケーションが生まれる場所』だと思います。もっと色んな方に使ってもらい、世代を超えて交流できる場所になれば一番だと思います。私が通えるうちは、これからもずっとお願いしたいですね。



まひろ
5年 山田 真尋さん(左)
みひろ
3年 山田 実尋さん(右)

みんなや友達が集まって、自然と仲良くなって遊べる場所！

小学校が終わったあと週に4回ほど、こども館に来ています。こども館は、1年生の頃からずっと使っていて、私たちにとっては放課後に立ち寄る場所となっています。普段は、工作をしたり、学校の宿題をしたり、友達と遊んだりして過ごしています。こども館で開かれるイベントにもよく参加していて、とても楽しいです。

こども館の良いところは、近くに住んでいる友達が多いので、友達と気軽に集まれて待ち合わせできることや、学年の違う子どもと自然に仲良くなれるところです。初めてくる子どもでもすぐに馴染めるし、メイトさんともすぐ顔見知りになれるので、気軽に来てみてほしいです。イベントもよく開かれていて、メイトさん達が一緒に教えてくれるので、初めて参加してもとても楽しめます。

こども館は、『みんなや友達が集まり、自然と仲良くなって遊べる場所』だと思います。



地区こども館へようこそ！



茅野市には公園がたくさんありますが、その中に『本のある屋根付きの公園』があるのをご存じでしょうか？その公園は、『地区こども館』という名前で、地域の方々に親しまれています。一見、子どものための施設と思われがちですが、利用の方法は人それぞれ、年齢に関係なく地域の全ての方々が気軽に利用することができる居場所となっています。今月の広報ちのでは、そんな地区こども館や利用者について特集いたします。利用者と彼らを迎える「どんぐりメイト」によって育まれてきた、温かい雰囲気地区こども館を利用してみませんか？

地区こども館とは

地区こども館は、市内10カ所の地区コミュニティセンターに併設されている「本のある屋根付きの公園」です。地域の親子が集まる『子育て・親育ちの拠点』としての機能と、『図書館分室』としての機能を併せ持ち、子どもたちが集まる場所に、当たり前のようには本があるという環境を作っています。置かれている本やおもちゃ、広さ、雰囲気、イベントの種類などは、こども館それぞれに個性があります。公園なので、お住まいの地域に関係なくどこでも利用でき、「こども館」という名前ですが、おとなの利用も大歓迎です。

使い方はいろいろ

午前中は、図書館分室に本を借りにくる地域の方や、小さなお子さんと一緒に遊びにくるお父さん・お母さんたちが、ゆったりとした時間を過ごしています。中には、いくつかのこども館を利用しながら、自分たちのお気に入りの場所を見つける方もいます。放課後になると、学校から帰ってきた子どもたちでにぎやかになります。「自分の責任で自由に過ごす」場所として、遊んだり、おしゃべりしたり、宿題したり、本を読んだり、子どもたちのパワーが、地区こども館の外まであふれ出しています。

どんぐりメイトの存在

地区こども館には、『どんぐりメイト』と呼ばれるスタッフがいます。子どもたちの見守りをしながら、本を紹介したり、一緒に折り紙をしたり、

時には、子どもだけでなく大人の相談相手になったりと、利用者を温かく迎える存在です。地区こども館のアットホームな雰囲気は、どんぐりメイトさんの笑顔から生まれています。



図書館分室と併設

地区こども館は、図書館分室に併設されており、こども向けの本だけでなく、大人が楽しめる本も揃っています。借りた本は、どのこども館からも返却可能であり、本を取り寄せることもできます（一部を除く）。

暮らしの傍らにある図書館として、気軽に利用できる環境を整えています。

地域の「コミュニティスペース」

地区こども館は、地域の方々に運営を支えていただいており、子どもたちを真ん中に置きながら、地域のつながりの中で子どもたちの成長を見守り、地域の皆さんにとっても心地よい居場所を目指しています。

使い方や関わり方は人それぞれです。地区こども館に、ぜひ気軽に足を運んでみてください。

地区こども館は、地区コミュニティセンターの中にあり、それぞれ置かれている本やおもちゃ、雰囲気や広さが異なります。
しかし、どの館にも共通しているのは、ほっとできる居心地の良さと、どんぐりメイトさんの温かな寄り添いです。
今回は、そんな個性豊かなこども館の一部をご紹介します。あなたのお気に入りのこども館をみつけてみませんか？



広くて大型遊具で遊べる！ 午前中は未就園児親子の憩いの場

広々とした室内で過ごすことができるのが魅力のこども館。
室内には大型の遊具が置かれていたり、外にはジャングルジムなどの遊具もあつたりと、お子さんを遊ばせるにはぴったりです！ 館内や外のベンチで本を読んで帰るなどの使い方もオススメです！

地区こども館 03

中大塩 どんぐりころころ館

特色あるこども館をご紹介します！



地区こども館 01

宮川 きてみてどん

静かで落ち着いた場所、中央公民館内で駐車場の心配もなし

こども館の中でも静かで落ち着いていて、アットホームな雰囲気のこども館。
光が差し込む窓際で日向ぼっこしながら、本を読んだり、お子さんと遊んだり、メイトさんとお話したりと、ゆったりとした時間を過ごすのはいかがでしょうか。

茅野市にはこどもの居場所がたくさん！

地区こども館以外にも、こどもの居場所は数多くあります。
このコーナーでは、その中の一部をご紹介します！



0123 広場

いつでも自由に遊べる屋根付きの公園

0123広場は、0～3歳の子どもと保護者が、安心して過ごし遊べる子育て支援施設です。
保護者同士が気軽に交流し、子育ての悩みを話したり、情報を分かち合ったりしています。雨や雪、暑さ寒さなどの天気を気にせず、広い空間で体を使った遊びや絵本を思い切り楽しむことができます。



CHUKO らんどチノチノ

開かれた中高生の自治区

CHUKOらんどチノチノは、設計から中高生が関わって生まれた中高生の居場所です。
利用ルールや運営も中高生自身が担い、イベントやライブなど、主体的に企画しています。音楽スタジオ、ダンスルーム、学習室、キッチンなど自由に利用することができます。

こども館は市内に10カ所あり、ご紹介したこども館以外にも魅力がいっぱいです！
開館時間や休館日、他イベント情報はホームページ（QRコード）からご確認ください➡



地区こども館 02

湖東 湖東夢のこども館

分室利用が充実、毎月色々なイベントを開催！

部屋の大きさがこども館で一番小さいため、子どもたちが落ち着いて遊ぶことができるのが人気のこども館。
学校帰り子どもたちや地域の子どもの憩いの場として活があります。地域の方の分室利用も多く、毎月魅力的なイベントが行われています。



木製のおままごとセットが人気！